

日本近代法史講義

伊藤孝夫

担当編集から 本書は、京都大学の伊藤孝夫先生が長年にわたり担当されてきた日本法制史の講義を基礎にした概説書です。

法制史の概説書という性格上、必ずしも人物を中心軸に置いて解説が展開されているわけではありませんが、近代の日本を作った著名な人物たちが、どのような背景と歴史の流れの中で日本の近代法を作っていったのか、その活劇ともいえるような姿も臨場感をもって描かれています。

タイトルに「近代」とあるものの、前近代についても冒頭の1章分を割いて解説しています。実定法の学習では、通時的に流れを辿ることもありますが、基本的には第二次世界大戦後の範囲がメインです。時には日本近代の夜明け、さらには前近代にも視野を広げると、見えてくるものがあるのではないのでしょうか。

法の歴史に興味を持っている方にも、そして、たまには実定法から離れた勉強をしてみたいと感じている方にも、お薦めの本になっています。(Y)

Point 日本法の「今」につながる流れを辿る構成。

第1章 日本近代法の前提

古代国家の形成／平安期の国家と法／
中世武家政権と法／近世国家の創出／
江戸期の法と社会

第2章 近代法の形成

明治国家機構の形成／司法制度の創設／
刑事法の刷新／近代私法秩序の形成

第3章 近代法の確立

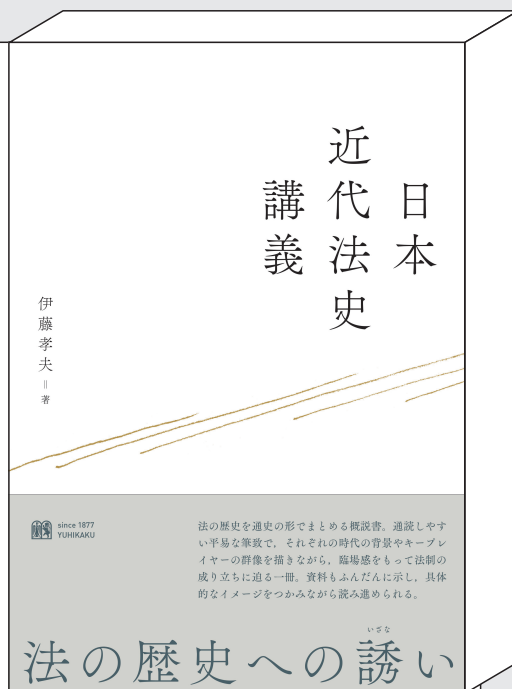
憲法制定への模索／明治憲法の制定／
明治立憲制の確立／司法制度の確立／
民法典・商法典の編纂

第4章 近代法の再編

立憲制の展開／刑事法の展開／
民事法の展開／社会法領域の登場／
立憲制の崩壊／戦時下の法と社会／
占領下の法体系／日本国憲法の制定／
現代法秩序の確立

第5章 現代法の展開

復興期の法と社会／
経済成長期の法と社会／
成熟社会への模索／現代日本法の展望



レベル 中級
用途 学習 教養 研究
対象 学部 LS 一般

2023年4月発売／484頁／定価5060円(税込)
A5判／並製

詳細を見る



詳細は、小社ウェブサイトの本書のページをご覧ください。

